

結果報告

大会名	平成26年度第66回全日本総合ハンドボール選手権大会				
競技日	12月25日(木)	試合番号	2-3	回戦	2回戦
種別	男子・女子	会場	枇杷島SC・愛知県体育館		
Aチーム			Bチーム		
北陸電力			トヨタ自動車東日本		
得点合計	小計		小計	得点合計	
23	9	前半	19	35	
	14	後半	16		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【戦評】

記載者氏名 郡司 恵太

トヨタ自動車東日本のスローオフで試合開始。トヨタ自動車東日本は10番玉井の先制点を皮切りに、一挙4連続得点。北陸電力はシュートを打つものの、相手GK1番永瀬の好セーブやミスなどからリズムに乗れず、たまたま1回目のタイムアウトを要求する。しかし、タイムアウト後もミスからの失点をし、最初の得点をあげたのは、試合開始から6分すぎであった。その後は両チーム得点をあげるが、豊富な運動量と高い連動性を持つトヨタ自動車東日本が連続得点を重ね、前半18分過ぎの時点で10点差とし、そのまま前半が終了。

後半もトヨタ自動車東日本の得点からスタート。しかし、北陸電力は連続得点を許さず、後半10分過ぎからのGK12番廣瀬の連続ファインセーブから3連続得点で8点差へと詰め寄る。しかし反撃もそこまでで、その後はトヨタ自動車東日本が安定した試合運びで試合終了を迎えた。